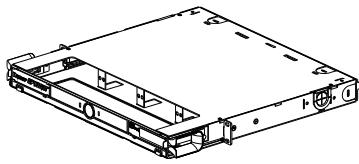
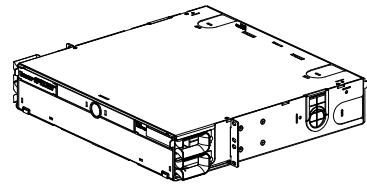


FCE1U



FCE1UA



FCE2U

梱包内容：( ) の数量はFCE2Uの梱包数量を示しています。

1 - エンクロージャー	3 (4) - ケーブル引き込み口用ブッシング	4 - #12-24 x 1/2" ネジ
2 (3) - タックタイ	4 - #M6 x 1 ネジ	1 - 警告ラベル
2 (3) - タックタイ用粘着テープ付き固定具	1 (2) - ストレインリリーフブラケット	1 - レーザー光線警告ラベル
2 - 光ファイバースプール	4 - 結束バンド (型番 : PLT2S-M0)	3 - 粘着テープ付きコードクリップ
1 (2) - #10-32 x 3/8" ネジ	2 (4) - プランジャーおよびグロメット	
3 (4) - #10-32 HEXナット	2 (4) - ケーブル管理クリップ	

警告：接続していない状態のコネクタはレーザー光線を放射している可能性があります。コネクタの終端を直接目視したり、顕微鏡などで見ないでください。接続していないコネクタにはダストキャップを取り付けてください。

注意：光ファイバーケーブルは、過度の張力・屈曲・圧迫によって破損する恐れがあります。ケーブル製造会社の仕様書や取扱説明書に従い作業を行ってください。成端の際は、TIA/EIA 568-A, 569, 606および607に従ってください。

ファイバー製品を保護するため、エンクロージャーの引き出しの開閉は十分注意して行ってください。

### アセンブリー

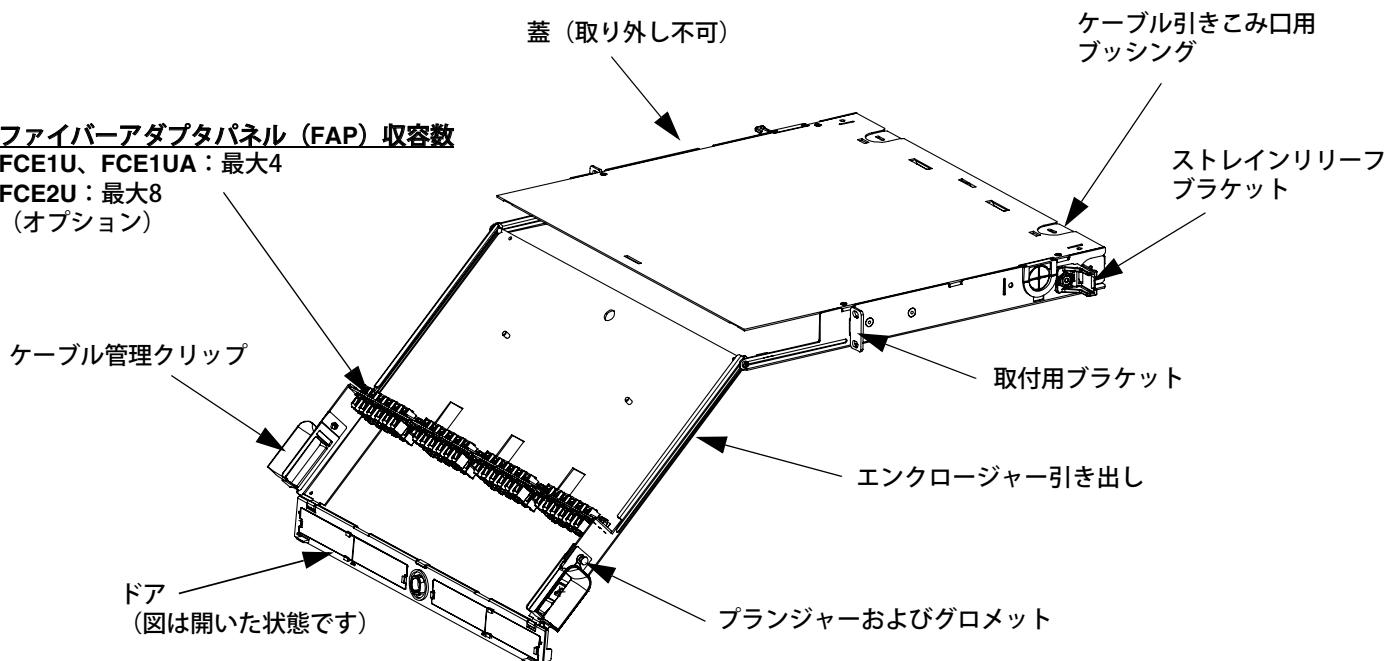


図 1

## ラックへの取り付け

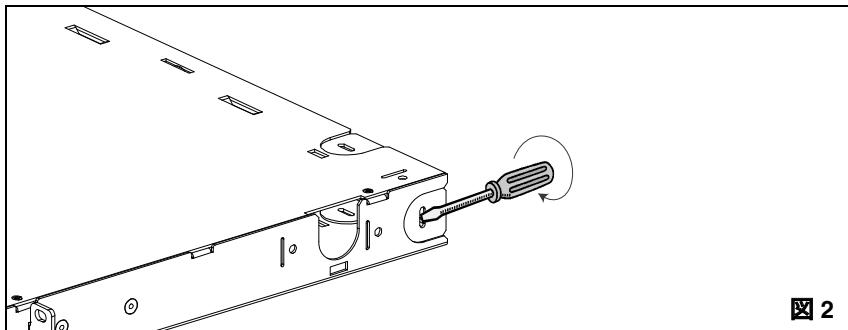


図 2

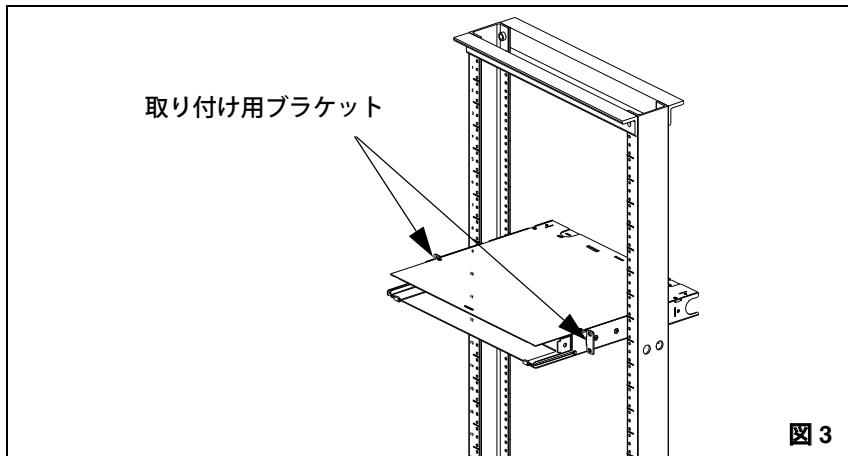


図 3

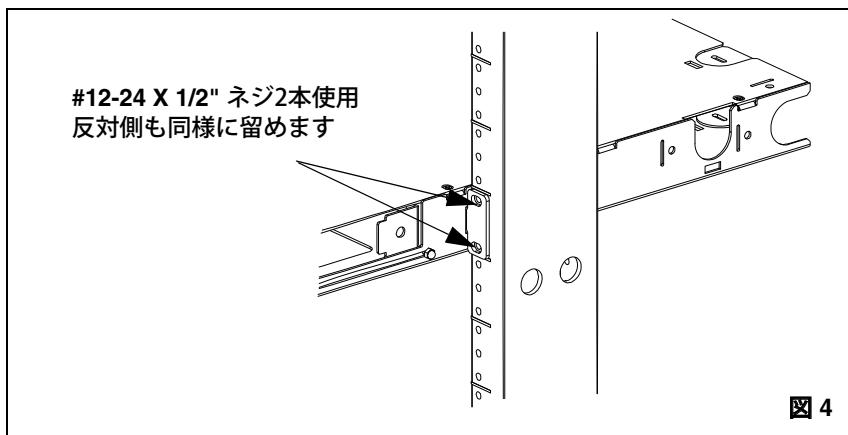


図 4

## ブッシングの切り取り

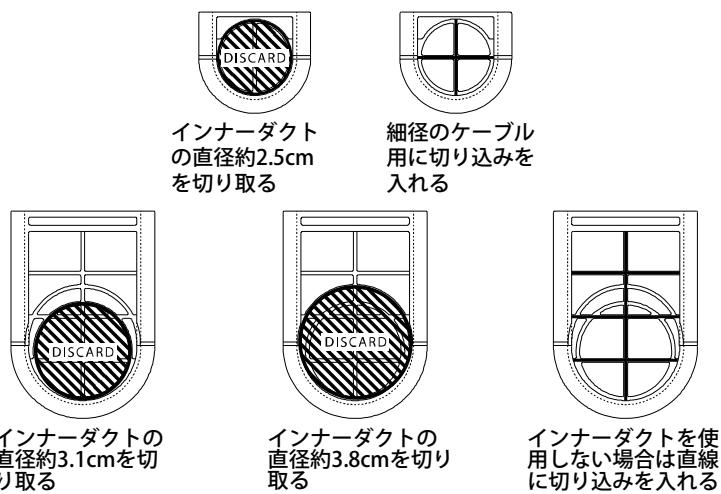
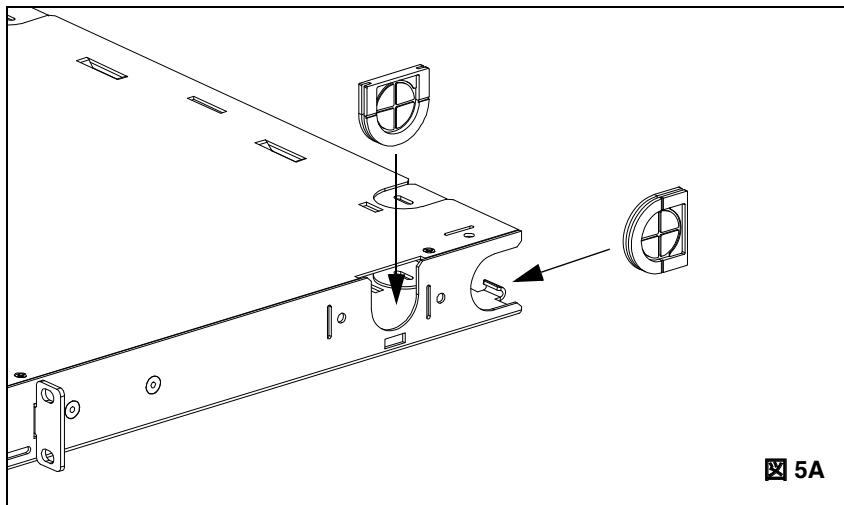


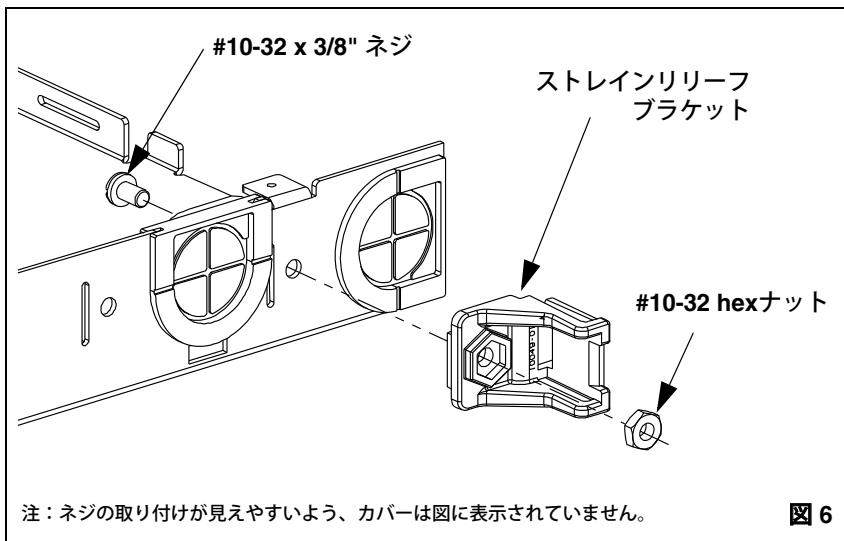
図 5

ラックにエンクロージャを取り付け、ケーブルを引き込む際に使用するインナーダクトのサイズを決めます。

図5を参考に、ブッシングを適切なサイズに切り、取り付けの準備をします。



ブッシングを取り付けます。



ケーブル引き込み口のすぐ近くにストレインリリーフブラケットを取り付けます。  
#10-32 x 3/8" ネジおよび#10-32HEXナットで固定します。

図 6

## QuickNet カセット取り付け（カセット別売り）

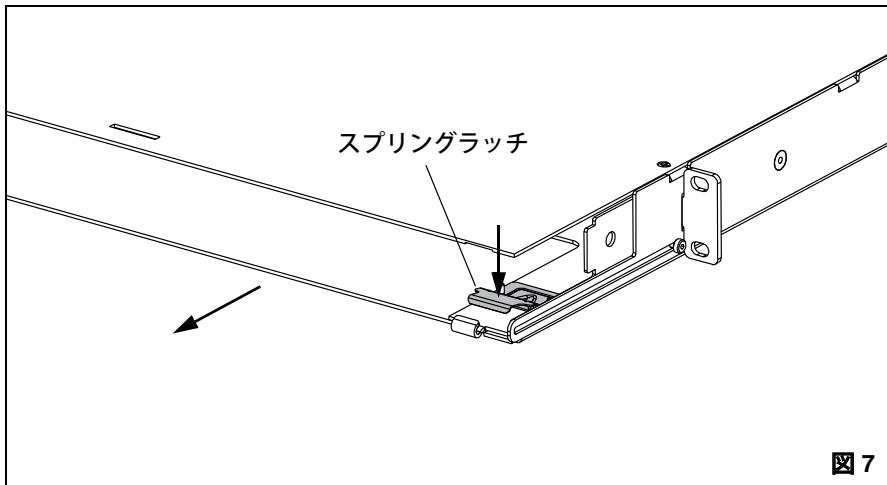


図 7

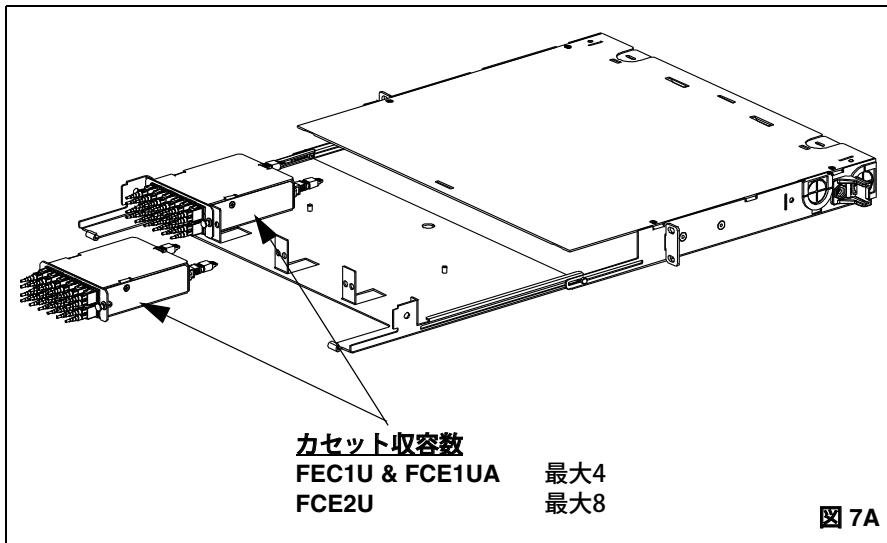


図 7A

図のようにQuickNet プレターミネート光ファイバーカセットをエンクロージャーに取り付けます。  
取り付け後はラッチにしっかりとはめ、カセットを固定します。

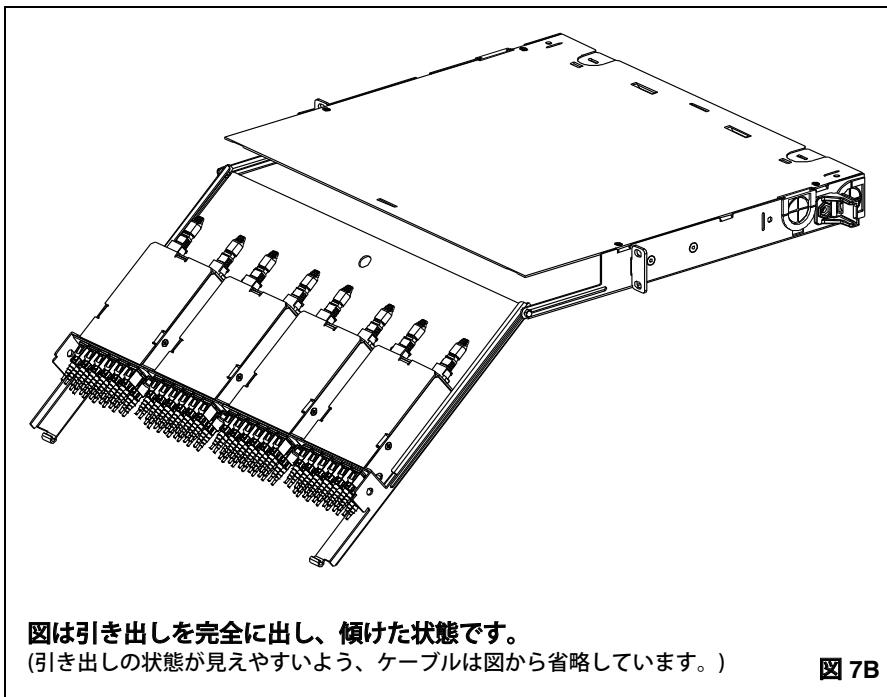
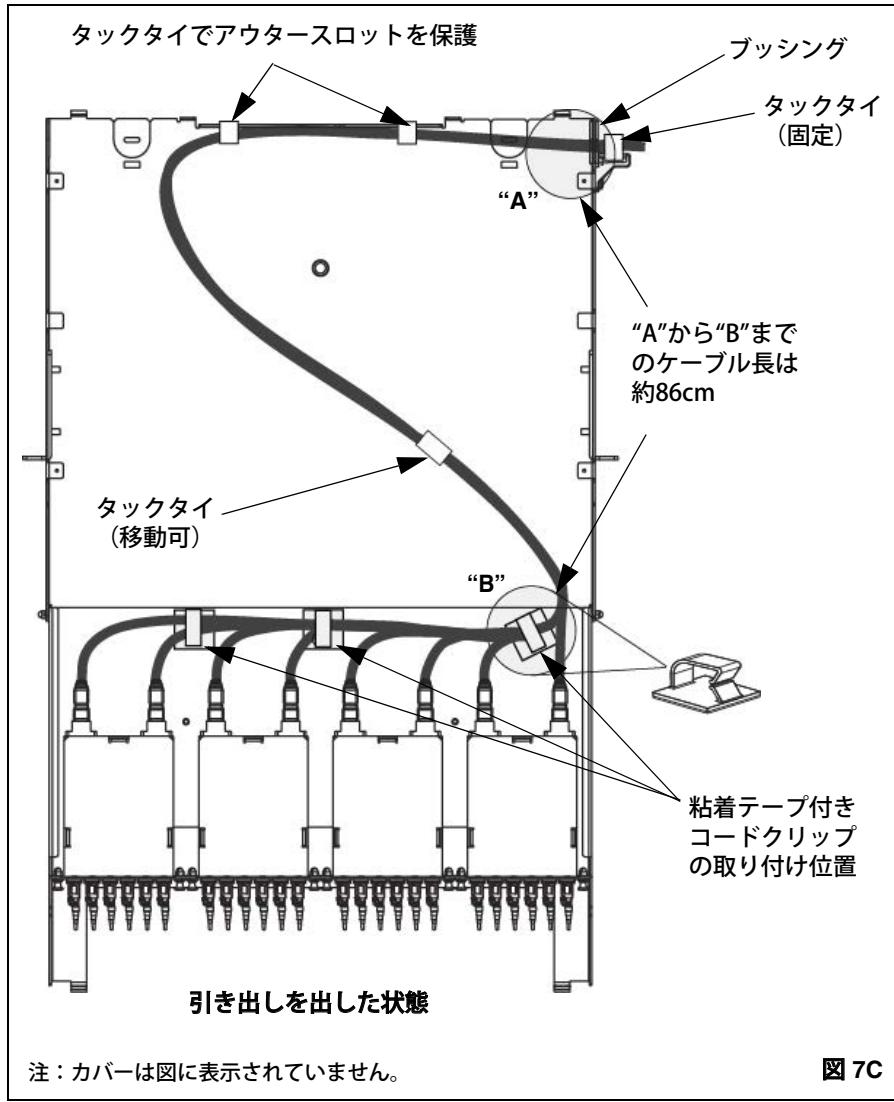


図 7B



図のように、ファイバーケーブルを、ブッシングを通してカセットへ配線します。引き出しを出した際にケーブルに過度の張力がかかるないよう、十分な余長を確保してください。余長が長すぎると引き出しが元の位置に戻らないので注意してください。（図7D参照）

ファイバーケーブルの固定にはタックタイを使用してください。

図 7C

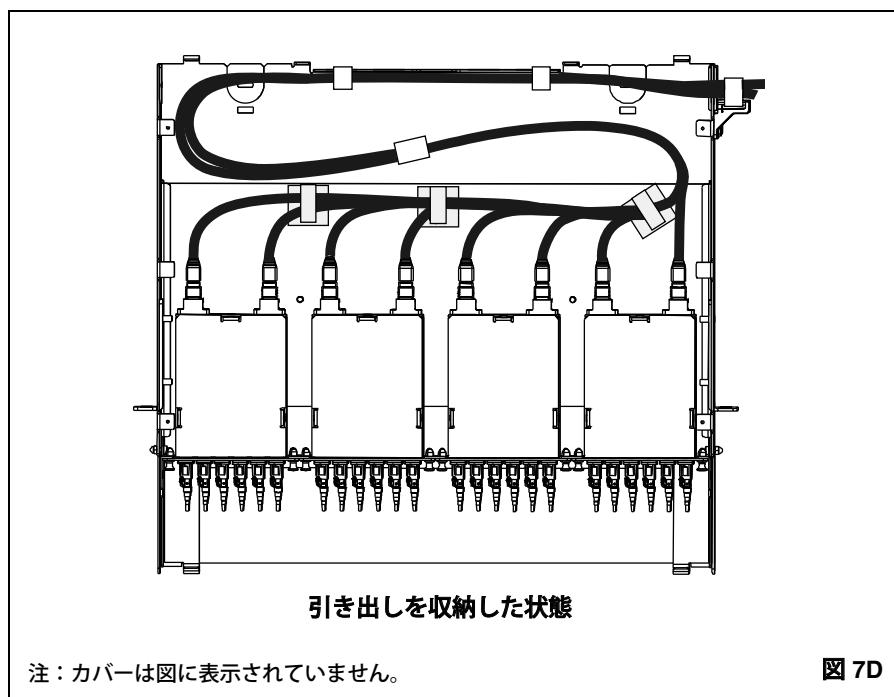


図 7D

## 現場成端、トランクケーブル配線

### ファイバーアダプタパネル収容数

FCE1U・FCE1UA 最大4つ  
FCE2U 最大8つ

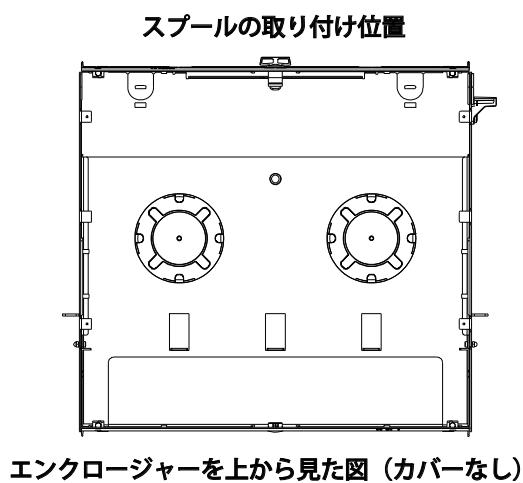
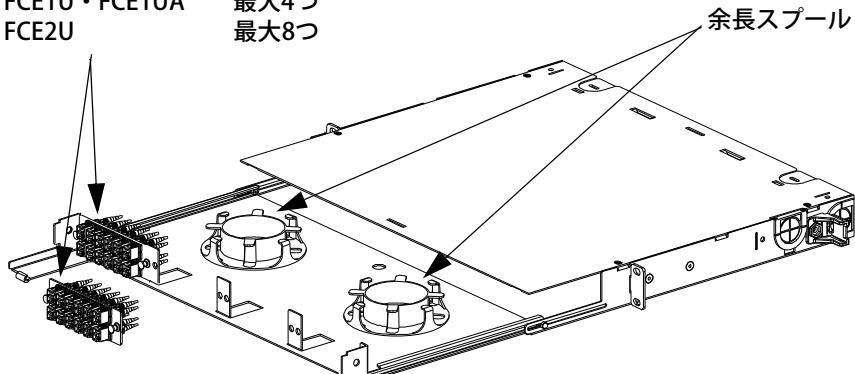


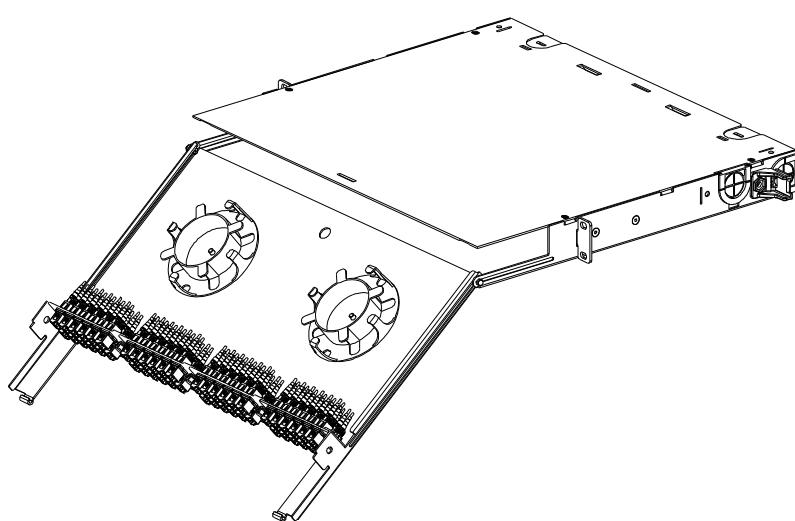
図 8

引き出し部分の#10-32止め金具にスプールを取り付けます。#10-32Hexナットあるいは両面テープで取り付けます。

両面テープを使用する場合は、スプールの穴と同じ位置に穴を開けてください。

図のように、ファイバーアダプタパネルをフランジの間に取り付けます。取り付け後はラッチにしっかりとはめ、ファイバーアダプタパネルを固定します。

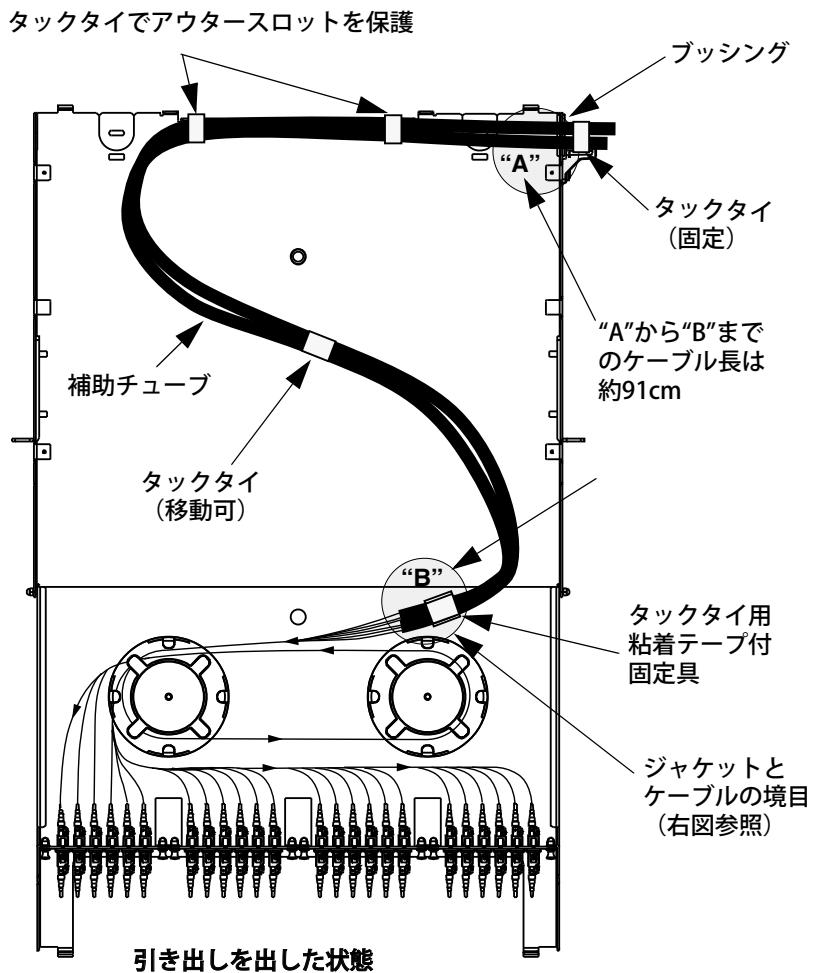
引き出しを完全に出し、余長が適切か確認します。



図は引き出しを完全に出し、傾けた状態です。

(引き出しの状態が見えやすいよう、ケーブルは図から省略しています。)

図 8A



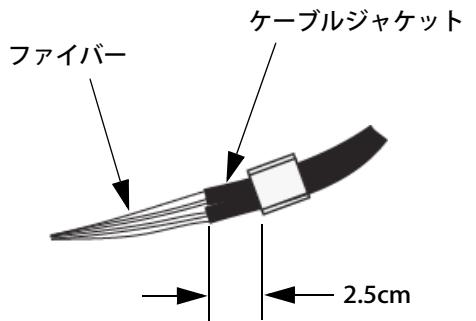
注：カバーは図に表示されていません。

図 8B

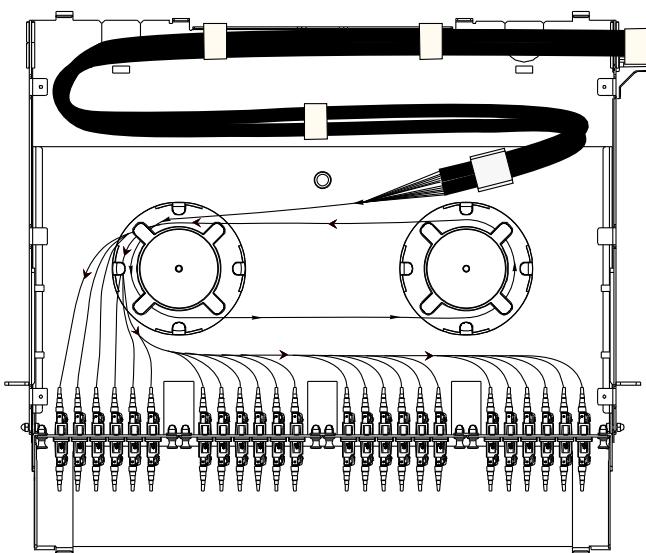
図のようにブッシングを通してファイバーケーブルを配線します。ファイバーをスプールに1周できる程度の長さ（約1.3m）のケーブル長を確保します。

引き出しを出した際にケーブルに過度の張力がかからないよう、ジャケット部分には十分な余長を確保してください。余長が長すぎると引き出しが元の位置に戻らないので注意してください。（図8C参照）

ファイバーケーブルの固定にはタックタイを使用してください。



固定具でトランクケーブルのジャケット部分を押さえます。ファイバーを押さえないよう注意してください。



注：カバーは図に表示されていません。

図 8C

## FOSM光ファイバー融着トレー取り付け (FOSM別売り)

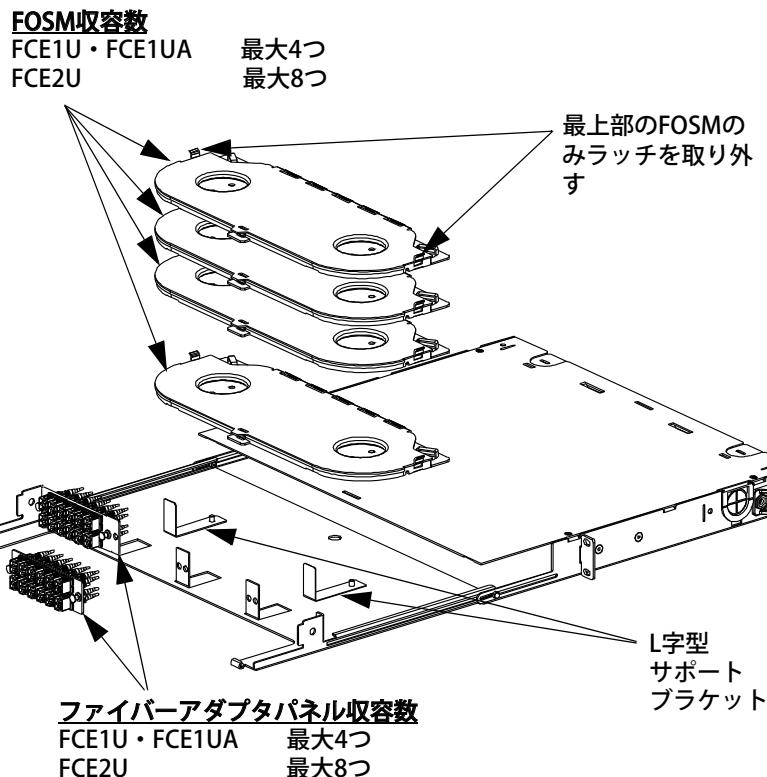


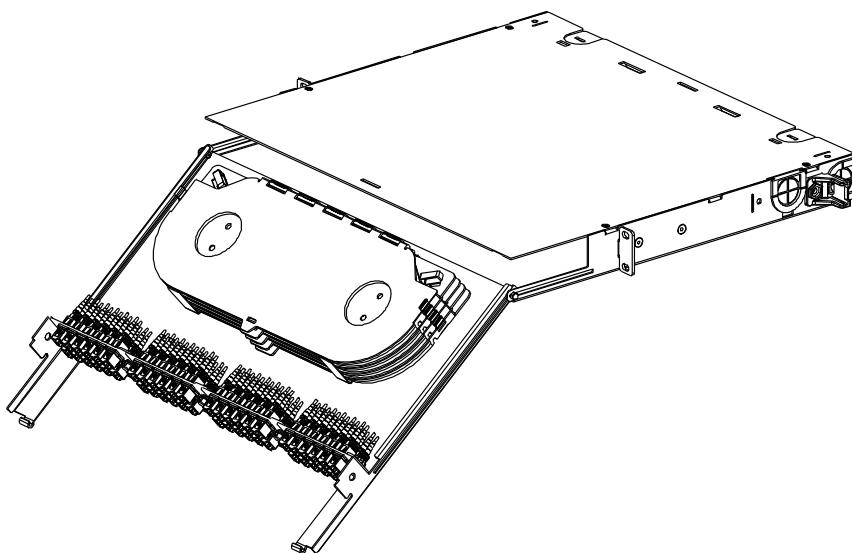
図 9

引き出し部分の#10-32止め金具にL字サポートブラケットを取り付けます。向きに注意してください。

1枚目の融着トレーをL字サポートブラケットの上に取り付け、#10-32Hexナットで固定します。残りの融着トレーは1枚目のトレーの上に積み上げ、定位置へ固定します。

エンクロージャー (FCE1U/FCE1UA) に融着トレーを4枚取り付ける場合は、最上部の融着トレーのラッチは折って取り外してください。ラッチがあるとエンクロージャーの引き出しが閉まりません。

図のように、ファイバーアダプタパネルをフランジの間に取り付けます。取り付け後はラッチにしっかりと止め、ファイバーアダプタパネルを固定します。



引き出しを完全に出し、余長が適切か確認します。

融着トレーを積み上げる際は、各融着トレー内で融着をしてから、次の融着トレーを積み上げてください。

図は引き出しを完全に出し、傾けた状態です。引き出しの状態が見えやすいよう、ケーブルは図から省略しています。

図 9A

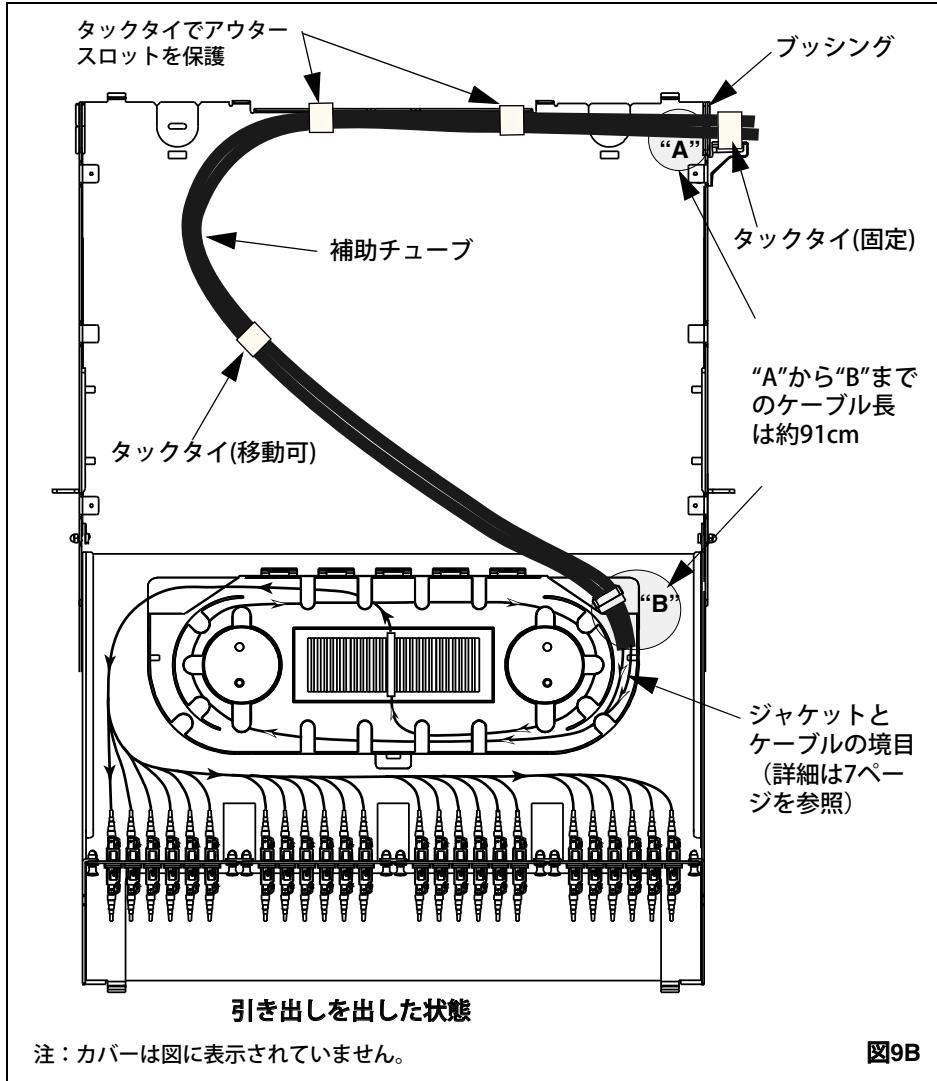


図9B

図のようにブッシングを通してファイバーケーブルを配線します。  
ファイバーをFOSMスプールに1周できる程度の長さ（約1.5m）のケーブル長を確保します。

トランクケーブルの900μm/バッファーファイバーをピッギテールへ融着します。

引き出しを出した際にケーブルに過度の張力がかからないよう、ジャケット部分には十分な余長を確保してください。  
余長が長すぎると引き出しが元の位置に戻らないので注意してください。（図9C参照）

ファイバーケーブルの固定にはタックタイを使用してください。

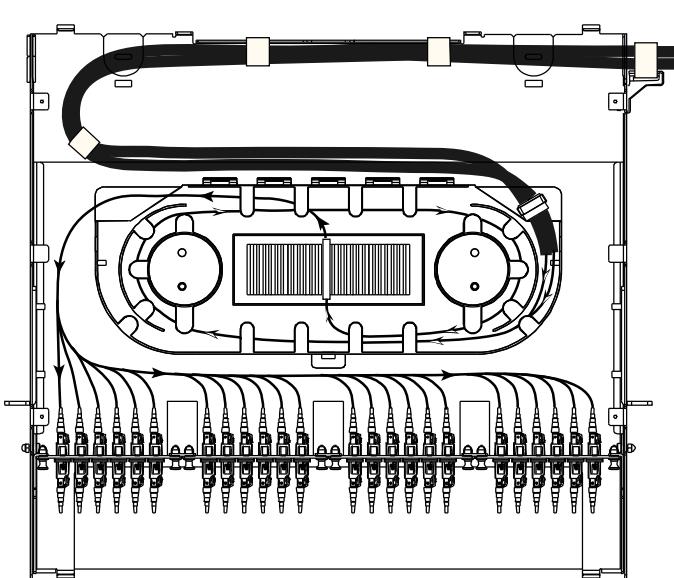


図9C

注：カバーは図に表示されていません。

## ケーブル管理クリップの取り付け

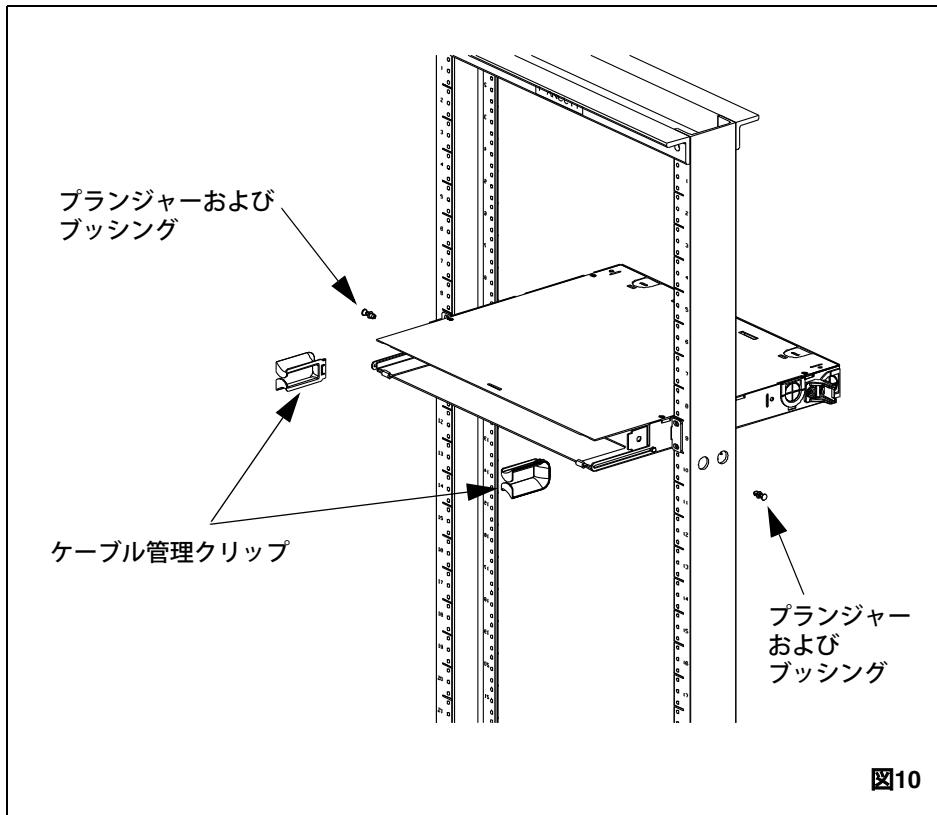


図10

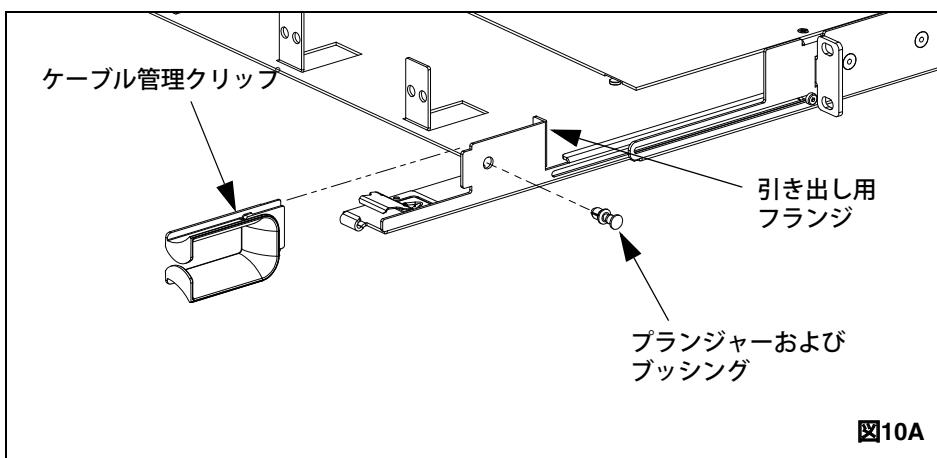


図10A

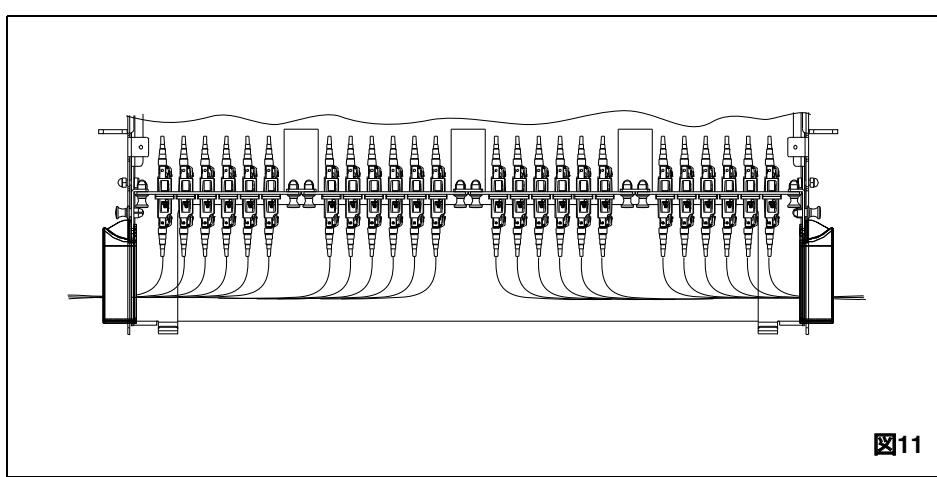


図11

図のように、引き出し用フランジにケーブル管理クリップをスライドして取り付けます。

ケーブル管理クリップとフランジの穴にプランジャーとブッシングを挿入し、クリップを固定します。

反対側も同様に取り付けます。

ファイバーアダプタパネルやファイバーカセットにパッチコードを成端します。  
ケーブル管理クリップを通して配線することで適切な曲げ半径を維持できます。

## ドアの取り付け

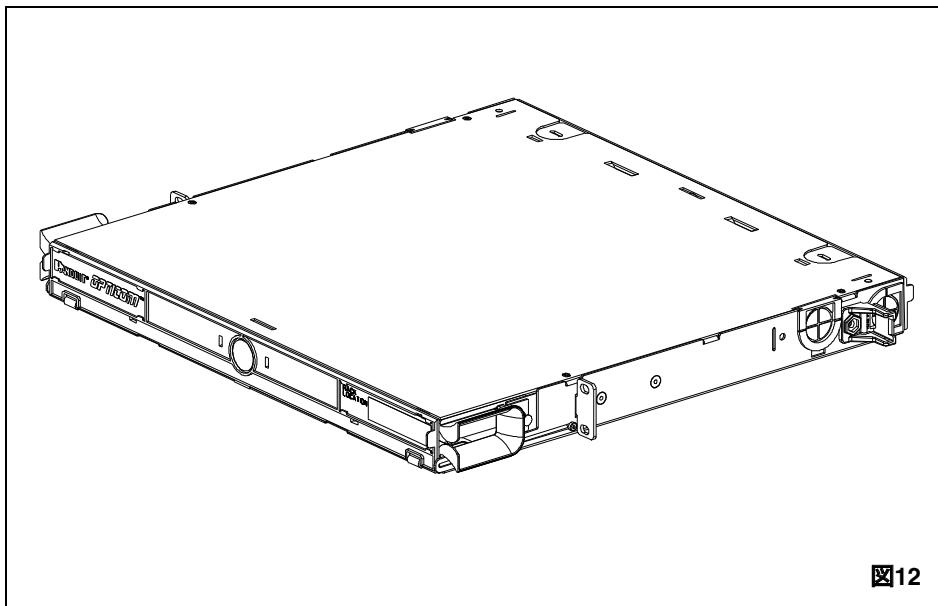


図12

成端時に前面/背面ドアを取り外した場合は、元に戻します。

レーザー光線警告ラベルおよび警告ラベルを見る位置に添付します。